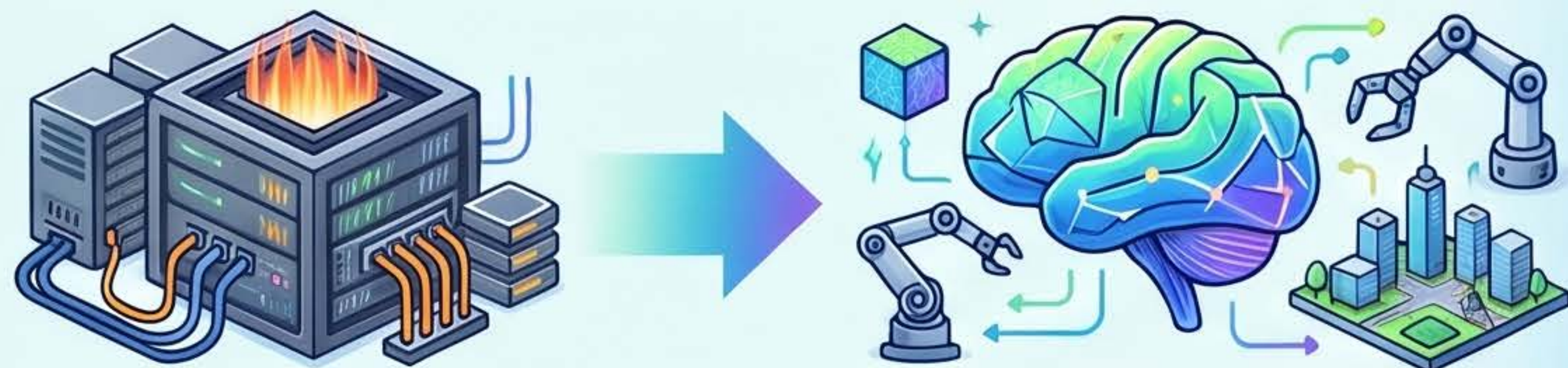


AI重鎮シュミットフーバー氏がSakana AIに参画：巨額計算に頼らない「フィジカルAI」の新時代

深層学習の先駆者ユルゲン・シュミットフーバー氏がSakana AIのチーフ・サイエンティフィック・アドバイザーに就任。「RSI Lab」を率い、巨大計算資源に依存する従来のAI開発に対し、再帰的自己改善と世界モデルを軸とした「フィジカルAI」という新たな選択肢を提示する。

技術的シナジー：理論と実用エンジニアリングの融合

巨額な計算資源依存からの脱却と「フィジカルAI」への移行



言語モデル中心から、物理世界を理解・操作する世界モデルと自律改善AIへ進化。

ゲーデルマシン理論の実用化 (Darwin Gödel Machine)



形式的証明を実験的・進化的検証に置き換え、自己改変コードの性能を大幅向上。

科学的発見の完全自動化 (The AI Scientist)



仮説生成から実験、論文執筆、査読までを自動化し、Nature誌等に採録。

産業・経済的インパクトと日本エコシステムへの波及

評価額約27億ドル (約4,320億円) のユニコーン企業へ成長



累計約4.12億ドルを調達し、MUFGや三菱電機など国内大手も出資。

日本の強みである「ものづくり・ロボティクス」との融合



AIロボット協会 (AIRoA) と連携し、物理アセットに世界モデルを組み込む。

頭脳流出の逆転と「ソブリンAI」の確立



東京を最先端AI研究の国際ハブへ変革し、自前で進化する国産AI基盤を構築。